

病害虫発生予察注意報（第2号）

平成30年10月5日

神奈川県農業技術センター

病害虫名：ハスモンヨトウ

作物名：野菜類、花き類

1 発生地域：県下全域

2 発生量： 多

3 注意報発令の根拠

- (1) 当センター病害虫防除部が三浦市初声町和田、横浜市神奈川区羽沢町、伊勢原市下谷に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、9月第4半旬から第6半旬までの合計が3457.5頭と平年（1914.3頭）の約1.8倍であり、9月第6半旬に急増した（図）。
- (2) 県予察ほ（平塚市上吉沢）のフェロモントラップへの雄成虫誘殺数が、9月第6半旬に急増した。
- (3) 気象庁が10月4日に発表した1ヶ月予報では、気温は平年より高いと予想されている。

4 防除対策

- (1) 本種はきわめて広食性で、アブラナ科、ユリ科、レタス、イチゴ、サトイモ、ホウレンソウ等の野菜類の他、シクラメンやキク等の花き類等を加害するので注意する。また、非休眠性の暖地系害虫で、野外での越冬は困難であるが、加温施設内では周年発生するので注意する。
- (2) 幼虫が分散する前の早期発見に努め、葉裏に黄土色の鱗毛で覆われた卵塊や、ふ化直後の1～2齢幼虫の集団を見つけたら速やかに取り除き適切に処分する。
- (3) 齢期が進むと薬剤の効果が低下するため、薬剤散布は若齢幼虫を対象に実施する。また、同一系統の薬剤の連用は避ける。
- (4) 育苗時には防虫ネットによるトンネル、ハウス栽培の場合には、開口部を防虫ネットで被覆し成虫の産卵を防ぐ。ただし、本種は、防虫ネットや施設の鉄パイプにも卵塊を産みつけるので、注意して観察する。
- (5) 施設では、夜間に黄色蛍光灯をつけると、忌避効果がある。

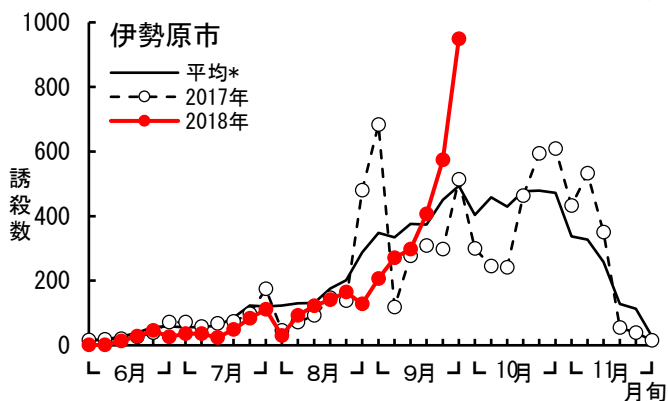
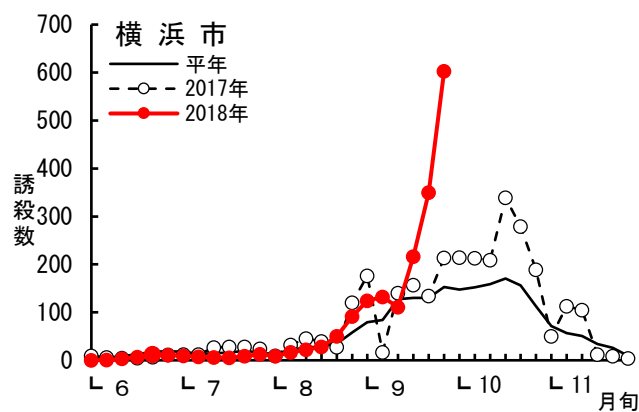
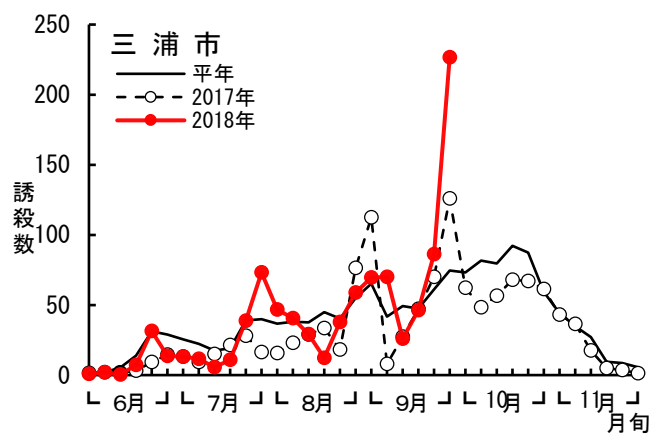


図 フェロモントラップへのハスモンヨトウ雄成虫誘殺数の推移
*伊勢原市の平均は、2009～2017年

5 防除薬剤

各種作物の防除薬剤例は下表のとおり。農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守すること。

表 防除薬剤例 (○は登録有り、登録内容 2018年10月1日現在)

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無							
		キャベツ	ブロッコリー	ハクサイ	コマツナ	レタス	イチゴ	タマネギ	ホウレンソウ
ディアナSC	5	○	○	○	○	○	○	○	○
アニキ乳剤	6	○	○	○	○*	○	○	○	○
アフーム乳剤	6	○				○	○		○
カスケード乳剤	15	○	○			○	○		○
マッチ乳剤	15	○	○				○		
ファルコンフロアブル	18	○	○			○	○		
トルネードエースDF	22A	○				○	○		
アクセルフロアブル	22B	○	○	○	○*	○			○
フェニックス顆粒水和剤	28	○	○	○		○	○		
プレバゾンフロアブル5	28	○	○	○		○	○		○

*は非結球あぶらな科葉菜類で登録あり

神奈川県農業技術センター
病虫害防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333
FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>